

開会の言葉

IM実行委員長 植田 範矢

皆さんこんにちは。本日IMの実行委員長をさせて頂きます植田でございます。

本日はインフォーマルミーティングに御参加を頂きまして本当にありがとうございます。今日は皆様方がこの会場にお入りになった時、ちょっといつも



より雰囲気が違うなと感じられたでしょうか。もしも、そう感じて頂いていたら我々粉河クラブにとりまして本当に本望とするところで御座います。

と申しますのは、本日この「智慧・愛・・・伝えよう子供たちに」というテーマの元で基調講演と、そして囲炉裏端話をして頂きます。是非とも皆様方にちょっとタイムスリップをした雰囲気の中で味わって頂きたいとメンバー一同そして奥様方の協力によりまして、この会場の雰囲気、そしてこの舞台の雰囲気作りをさせて頂きました。どうか粉河クラブの思いを感じて頂けたら幸いと思います。

本日、本当に不行き届きの点、満足のいかない点があろうかと思いますが、これも手作りの為だという事で是非ともお許しを頂きたいと思います。そして本日、このインフォーマルミーティング、1日十分に楽しんで頂きますよう心からお願い申し上げます、開会の言葉とさせて頂きます。ありがとうございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

歓迎の言葉

ホストクラブ会長 平原 祥彰

皆さんこんにちは。私は当クラブの平原で御座います。皆様をお迎えするにあたりまして、ホストが決まってからずっと、練りに練りまして、随分と皆さんに相談に乗って頂きまして本日となりました。委員長はじめ全員の手作りでいたしました。



我々の意図するところを委員長から申し上げましたが、良くご理解を頂ければこんな嬉しい事は御座いません。ガバナー始め御歴々の皆様をご臨席ですので少し堅くなるかなと感じますが、今日はインフォーマルミーティングですので、地区大会ではありませんので枠を外して頂いて、後で目の前の囲炉裏風の上に土鍋を出します。皆様に昔懐かしいお食事をして頂きます。メンバーの奥様方が大変はりきって準備をしてくれておりますので、どうか楽しみにして下さい。

最後まで一人もお帰りにならないで参加を頂ければこんな嬉しい事は御座いません。この辺が特に大切に御座いますので申し上げたいと存じます。私の方からは以上でございます。どうぞ皆様、半日楽しんで下さい。ありがとうございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

皆さんこんにちは。9月には各クラブいろいろと公式訪問でお世話になりまして有難う御座いました。

また11月初旬には地区大会に御参加を頂きまして有難う御座いました。後でご紹介頂けると思いますが今日の「ふるさとの心」でお話頂ける梅田さん、あり

がとうございます。後で詳しいご紹介があると思いますが一応お礼を申し上げたいと思います。

実行委員長が言われたように、確かに60年くらい戻して下さいまして、私の記憶でいきますと父親の里へ行きましたら、こんな感じでした。こういうIMというのも1つの方法で良いのではないのでしょうか。確かに普段我々いろんな形で職業を通じてという話が1つあります。これは自分の職業を通じてという事。ロータリーの最大の目的という感じがあります。その中でやはり、こういう癒し、非常に大事ではないかと思うし、後ほどお話いただける「智慧・愛」というのも非常に今、忘れられてきた部分を再見直しという事で非常にありがたなと思います。

私が提唱しております101に基づいて頂いたと非常に感謝をしております。成果を期待いたしまして簡単では御座いますが挨拶に代えさせて頂きたいと思ひますし、会長が申されたように、是非最後までお残り頂けますように私からもお願いをして挨拶に代えさせて頂きたいと思ひます。宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

ゼネラルリーダーの紹介

前窪ガバナー

本日、当IMのゼネラルリーダーを務めて頂きます、堺ロータリークラブの大澤徳平パストガバナーさんです。

パストガバナーの紹介及び挨拶

大澤ゼネラルリーダー

お久しぶりでございます。堺の大澤でございます。ご挨拶の前に、まず御出席下さいましたパストガバナーをご紹介させていただきます。

あらためて、前窪ガバナー。1997～98年度ガバナーを務めて頂きました、和歌山RCの堤パストガバナー。同じく1998～99年度ガバナーを務めて頂きました泉南RCの亀岡パストガバナー。1999～2000年度ガバナーを務めて頂きました、有田RCの成川パストガバナー。そして2001～02年度ガバナーを務めて頂きました、和歌山東南RCの前田パストガバナー。改めまして ご臨席ありがとうございます。宜しくお願い申し上げます。



冒頭に「お久しぶりでございます」と申しましたのは、実は私がガバナーの時代、1992～93年度に那賀町総合センターで、この粉河RCが当番でIMを開いて頂きました。その時のゼネラルリーダーは嶋パストガバナーでございました。それから本日でございますので10年余り経っております。

しかしながら今日のこの会場、本当に素晴らしい。本年度の前窪ガバナーが一番喜んでいただいているのではないかと思います。ロータリーファミリーのいわゆる標本の様に、この会場が出来上がっている。本当にびっくりもしましたし喜びました。本当に有り難うございます。こんな雰囲気ですから、おそらくお一人もお帰りにはならないと思います。帰れないですよ、こんな素晴らしい会場からは。どうぞ今日は一日、年に一度の皆さん集まっての勉強会、或いは親睦会でございます。最後までどうか宜しくお願い致します。

本年度のRIテーマは「手を貸そう」という題でございます。前年度は「種を播こう」という題でございましたけれども、それに続いての「手を貸そう」それもクラブ

に手を貸そうから始まりまして、社会に或いは国際的にも手を貸そうという題でございます。なるほどアフリカからお出になった貧しい国を目の前にしてのR I会長でありますので、こういうテーマが出てくるのは当たり前だと思いました。

それに併せて地区ガバナーは親睦という事を重きに置かれました。親睦という事を皆さんもう一度考えて頂きたいです。飲食する事も親睦でしょう。ゴルフするのも親睦かもしれませんが、それはあくまでも手段であって目的ではございません。ロータリーの心を例会を通じてでも皆様に或いは新しく入ってこられた皆様にも伝えて行く。ロータリーの心をご自分で磨いて行かねばならない。その為の手段が親睦でございます。その事も改めて考えて頂きたいというのが、今日の私のお願いでございます。

同時にご自分達が所属しているクラブをもう一度見直して頂きたいという機会にもしたいと思えます。と申しますのは、6つのクラブが集まっている訳ですから、どうぞ日頃お話にならない、ご近所ではあるけれども普段お話していない方と名刺交換などをして頂きながら、ご自分のクラブと比較をし、いろいろと足りないところを足して頂こうという機会にしてもらいたいです。そうする事によってロータリーの本当の良さが判ってまいります。同時にロータリーを楽しんで頂く事が出来るのではないかと思います。ご家族共々にロータリーを楽しんで頂ければ、ロータリーを辞める人は居らない訳です。またロータリーがこんなに素晴らしい世界だという事を自覚すれば、自ずから進んで友をお誘いできる訳です。その言葉には説得力がございます。ご自分が感じているんですから、「こんないいとこないよ」と一度例会に呼んで頂き、いつの間にか会員になっているという様な、いわゆる無理矢理引き込んで会員にする必要はございません。それは続きません。どうぞご自分がご自分のクラブを愛し、楽しみ、良く知って頂いて、そういう行動が自発的に出てくる事を待っているのです。そして新入会員の方も直ぐにロータリアンになる事は難しい事です。まず2年間ぐらい例会には必ず出席するというぐらいの、いわゆる例会を重きに置いてのロータリーライフを楽しんで頂きたいというのが今日のねらいでございますので、どうぞ最後まで宜しくお願い致します。

それから皆様より先に部門別会議がございました。プログラムの中にも書いてございます通り、12:50~13:50に親睦委員長会議・米山委員長会議・ロータリー財団委員長会議がございました。私は会長さん・IM委員長さんと一緒に3つの会場を20分間づつでございますが回らせて頂きました。その時のお話をごく一部分ではござい

ますけれども皆様にご報告したいと思います。

まず財団委員長の岩本地区委員長様ですけれども、この方は大変慣れておられまして上手に説明をされてました。「何も金を集めているだけじゃないよ。こんな素晴らしいプログラムをやっているんだ」という事を会員に知ってもらって下さいと盛んに仰ってました。

それから親睦委員会は成川パストガバナーを中心に致しまして、亀岡パストガバナーもお入り下さいました。いろいろとファミリーのお話をなさっておられましたけれども「今更うちは、そんな毎年家族会はやっているよ」「今更、そんな委員会作ってないよ」と中にはあった様なお言葉も聞かれました。しかし時代が時代でございますので、奥様方の御協力なしでは旦那もなかなか表を歩けません。私の家がそうで御座いますので、おそらく皆様も同じだと思います。ご理解を頂く事によってご奉仕もできる、と同時にそのご理解を利用して一緒にご奉仕をして頂くという事でございます。ロータリーの心を伝える訳でございます。

それから米山委員会には松下委員長さんをはじめ堤パストガバナー、前田パストガバナーも出席して頂いております。ここでちょっと気になったのは留学生を推薦します時に「クラブ推薦が無くなっていたではないか、これはどういう事か」「お金だけ集めてクラブで推薦できないのか」とちょっと苦情的な事もお話の中に御座いました。けれども、これは優秀な方をお助けしようというのが最近になって、ここ3、4年前からクラブは一切関係せずに学校の指導教官が推薦おし書類を作って東京に送る。東京の米山の本部で選考致しまして、地区に書類が帰ってきます。そして地区で面接試験をして選びます。選んだ後に、この方はこの学校に通っているから近くのクラブにお願いできないか、とクラブにお願いしているのが岩本委員長です。今そういう形式になっておりますので、どうぞお含みを頂きたい。またご希望があれば、どんどんと言って頂きたい。わりと米山は時代時代に合わせた考え方で変更もしておりますので、皆様方のご意向が強く出てまいりますれば、例えば今、大学生には12万、大学院生は15万。東南アジア、或いは中国に致しましても親の年収が12万ぐらいではないか？学生には多いのではないか？という意見もございました。という様な3つの委員長会議が御座いました事をご報告申し上げて、私の冒頭の挨拶とさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。

地区役員紹介

I M副実行委員長 宇田 勝彦



- ・ ガバナー補佐 豊澤 浩 様
- ・ ガバナー補佐 楠見 雅信 様
- ・ ガバナー補佐 地区米山記念奨学部門カウンセラー補佐
松下 光晴 様
- ・ 地区米山学友委員会委員長 田村 弘 様
- ・ 地区ロータリー財団学友委員会委員長 藤原 重行 様
- ・ 地区ロータリー財団増進委員会副委員長 中西 栄一 様
- ・ 地区ロータリー財団研究グループ交換等委員会副委員長
福岡 重弘 様
- ・ 地区代表幹事 前田 孝道 様
- ・ ロータリー財団部門別委員長 岩本 行弘 様

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

出席報告

登録受付委員長 東 秀樹

参加クラブの出席報告をさせていただきます。



	会員数	免除会員	本日出席数	出席率
橋本RC	48	5	22	51.16%
橋本紀ノ川RC	22		13	59.09%
岩出RC	38	3	21	60%
高野山RC	28		17	60.71%
打田RC	16		13	81.25%
粉河RC	41	3	36	94.73%

以上でございます。

司会

以上で開会式を終わらせて頂きます。皆様、御協力ありがとうございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

**INTERCITY MEETING
IN
KOKAWA**

知恵・愛…伝えよう子供達に

「紀ノ川とふるさとの文化」

講師 (随筆家) 梅田恵以子 先生

まもなく、ユネスコ世界遺産として登録されようとしている熊野・高野山…。古くは古墳時代から、また万葉の要衝街道として栄えた、ふるさと「母なる川、紀ノ川」が開いた平野に生まれ育った私たち。

はたして今、私たちはふるさとの先人が培った、その大切な誇りと文化をどれだけ理解し、認識を持っているのでしょうか、また未来に伝えてゆけるのでしょうか…。

紀ノ川の文化を愛され精通されておられます、郷土研究家で随筆家としても著名な、[梅田 恵以子先生]を講師にお迎えして、私たちが地域に、家族に、語り続けてゆかなければならない、「ふるさとの心」を、ご講演いただきます。



ふるさと讃歌
紀州路一〇〇曲より
作詞 梅田 恵以子
作曲 森川 隆之

山の村・かつらぎ町・
わたしの顔が
輝くときは
山で樞の実 拾うとき
かやぶきの屋根に
ふり落ちる青い実は
すっぱい秋の匂いにする
高野祈り道・高野山・
木漏れ陽がふりかかる
あおい杉木立らのあいだから
高野女人堂は
なぞか すすりなく
女のうしろすがた
ゆきすぎて なお
淋しさが こみあげてくる
風の中の子もり歌・根来・
風の中の子もり唄
根来の子もり唄
なつかしさは
遠い日の母の背中で
聞いた優しさのうた
ほのぼのと
花が匂うような
夢を残して



ただいま、ご紹介いただきました、梅田恵以子でございます。昭和6年生まれでございます、ちょっと、足の方がややこしくなっておりますが、まだ、頭の方はまだ大丈夫なようですので、今日は紀州の紀ノ川流域について、お話をさせていただきます。公演をいたします前にふるさと賛歌の中に「高野祈り道」高野山から、お越しの方もたくさんいらっしゃるようですし、来年は、高野山が、世界遺産として、登録されようとしている高野山の「高野祈り道」を堤 敦子さんに歌っていただきます。

高野山の方は聞き覚えのある曲だと思います。夜、9時に町のお知らせの時に高野山でながれている歌がこの曲です。

女人禁制と。今からでは考えられないようなことが、高野山でありました。女は穢れている。それとどうしてか、女と猫と牛は高野山の山内にはいってはいけない。というお話がありました。でも、本当に女性は山内にはいっていなかったか？疑問です。公に残っているお話に、大変有名な天皇が高野山で大きな儀式のある時に、女達が、男装して大門へ見に来たところ、高野山のお天気はよく雷が鳴るんです。その時も雷がなって、男装していた女性たちが「きゃー」とさけんでしまつてつかまってしまう、追い出されたという話です。

女人禁制が解かれたのは、明治5年です。なぜ女人禁制が解かれたかと申しますと、京都で世界万国博覧会がひらかれまして、文明開化という国で、女人禁制というのをおかしいではないか。ということで女人禁制をしているところはそれを、解きなさいということになりましたが、高野山はそれから5年間も抵抗していました。今は高野山は、観光に、女性の方、大歓迎で「女人禁制」があったことさえ忘れてしまうほどになりました。

未だに、女人禁制をかたくまもっている所が、和歌山県の新宮の「おとうまつり」があります。その祭りの日だけは、女人禁制になるのです。もしも女人禁制をやぶつたら、この町に不治の出来事がおこる。とつたえられています。その祭りの日は、男性が白装束に身をまとい、食べるものも、白色。かまぼこにも醤油をかけずに、いただく。とにかく、徹底しているんです。

白装束は、「精子」を意味し、三重県との県境の男根のように見える山に男たちが集まる祭りです。その意味を女性に説明をしてあげればいいんですよ。高野山での女人禁制は、女性が修行のじゃまになるということなんです。女性が修行のじゃまになるというような修行は修行とはいえない。と私は思うんですね。

高野の七つ口までは、女性が許されていた。弘法大使は女人禁制とは唱えてはいないのに、どこかでまちがって、つたえられていたんですね。女性を大切にみつかつて、子孫繁栄ということだったんです。また、大嶺山は、いまだに女人禁制ですが、何もかも、禁制を解きなさい。という話ではないんです。どこかは男性だけのところがあってもいい。と私は思っています。

高野山の精進料理について少し、お話させていただきますが、精進料理は、おいしく食べてすっきりと出す。という意味あいなんですね。

まず、精進料理にかかせないのは 大豆です。大豆は健康の素になる、豆腐、煮豆、揚げ物にもなります、豆は多食すれど害はなし。というほどいい、よい食材です。それとわすれてはならないのが、ゴマです。」ゴマは仙人の薬とされていました。ゴマを常に食べるという習慣がある。

正月のおせち料理のなかに、お話がはいっています。豆をたべて、まめになり、レ